

みんなの！！



安来市加納美術館

つうしん

2024年
3月
No.016

安来市加納美術館 発行

島根県安来市
広瀬町布部 345-27

☎ 0854-36-0880

https://www.art-kano.jp/

発行 2024年3月
No.016

企画展 こうげいやすぎ 工芸安来 ^{いち}壺 開催！

テーマは
布と木

安来市在住の工芸家の中から「布」と「木」を素材に制作する作家にスポットをあて展示します

3.16 [土] ▶ 5.19 [日]

休館日 / 毎週火曜日(祝日の場合翌日)

開館時間 / 9:00~16:30 (入館は16時まで)

入館料 / 一般1,100円 団体900円(20名以上)

高校生・大学生550円 小・中学生無料

障がい者手帳、及びこれに準ずる手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

展示作家 (順不同)

布

【安来織】

遠藤小間野
遠藤千恵子
遠藤京子

【出雲織】

青戸柚美江
青戸秀則
青戸泰恵
青戸和成
戸谷昌代

【袋物】

松本千鶴子
青木芙美子

木

【木工芸】

野白國雄
野白千晴

【組子細工】

門脇和弘

会期中のイベント

4/21 (日) アートdeトーク(対話型鑑賞会)

時間: ①11:00~ / ②13:30~

ファシリテーター: 春日美由紀さん

場所: 美術館展示室

作品を見ながら、何が見えるか、感じたこと、気付いたことを数人で対話しながら鑑賞します。みる力やコミュニケーション能力などが自然に身につくと注目されています。

作って楽しもう!

作家さんに教えてもらう /

ものづくりワークショップ開催!

詳しくは美術館HPまたは、お電話でお問い合わせください

同時開催
加納莞蕾展

「莞蕾の願いー
今こそ世界平和を」

平和を求め続けた画家・加納莞蕾。フィリピン大統領をはじめ、多くの要人たちに日本人フィリピンBC級戦犯助命嘆願書を送り、世界平和を求め続けました。

莞蕾の平和への想いを活動の軌跡と絵画作品を通して伝えます。

3/16 (土)

3/23 (土)

4/28 (日)

5/12 (日)

学芸員によるギャラリートーク

時間: ①11:00~ / ②13:30~

場所: 美術館展示室



映画上映会開催!

「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」

日時: 3月24日(日) ①10:00~ / ②14:00~

場所: 布部交流センター(美術館となり)

入場料: 一般1000円 / 中高生600円 / 小学生以下 無料

美術館にてチケット販売中。詳しくは美術館へお問い合わせください。



美術館HP



Instagram



facebook



旧Twitter



安来市立図書館とのコラボも開催予定

次の
企画展

和歌山静子 絵本原画展



「ひまつのフライパン」
©Shizuko Wakayama, 1998

人気絵本『ぼくはおうさま』シリーズで知られる絵本作家の和歌山静子さん。今年1月に逝去されました。初の追悼展です。

5.25 [土] >> 7.28 [日] (予定)



安来市
加納美術館の

聞かせて!!お客様のこえ

美術館運営をよりよくしていくため、アンケートを実施しています。
その中からいくつかご紹介し、ご意見ご要望にお答えします。

期間

2024年
1月11日
▼
3月10日

企画展 「安来市加納美術館の名品展
収蔵品カタログ②」

加納莞蕾展 「キリノ大統領の赦し 莞蕾の願い」

安来市加納美術館の名品展について

60代
女性

ポップな
色合いに好感

日本画の小野竹喬さんはこれまで知らなかったのですが、明治生まれの作家さんにしてはポップな色合いでとても好感がもてました。

60代
広島県
女性

今までしなかった
作家に出会えた

今までしることもなかった彫刻家、日本画ともに素晴らしい作品に出会えて来てよかった。

40代
米子市
女性

好きな画家として
インプット

小野竹喬。私の好きな画家としてインプットされました。

60代
雲南市
女性

金重陶陽
すべて素晴らしい

備前焼の金重陶陽すべて素晴らしい。土そのものから伝わる力強さ、無釉の焼き締め陶、灰が自然釉となるその景色が自然で偶然にできたところに感動を覚える。

60代
安来市
女性

「水辺梅花」が
気に入りました

小野竹喬の作品は手前に樹木があるのがほとんどで「水辺梅花」が気に入りました。

加納莞蕾について

鳥取県
女性

よい気づき
がありました

戦争は自国の受けたものばかりに目がいきがちですが、戦争は人を殺すことだということ。平和とは、ゆるすことから始められること。よい気づきがありました。

70代
日吉津村
女性

私の中に
残ると思います

絵も書も素晴らしかったです。桃の絵、龍の絵、私の中に残ると思います。

70代
米子市
女性

もっと作品が
見たいと思った

莞蕾氏の絵がとてもよかったです。もっと作品が見たいと思った。

美術館について

40代
松江市
男性

地元作家と
莞蕾への
取り組み継続を

地元作家の良作を守り、伝える取り組みを継続してほしい。
莞蕾の活動の研究を継続し、後世に伝えてほしい。

40代
米子市
女性

窓の汚れが
気になった

階段途中の窓（外側）の汚れが気になった。全体がとてもきれいだったからこそ目がいってしまいました。

70代
松江市
女性

春に来てみたい

とても気持ちのよい場所。春に来てみたい。

イベントの記録

2024年1月28日(日) @美術館展示室

アートdeトーク [対話型鑑賞会]

ファシリテーター(進行役): 春日美由紀さん

当館で企画展ごとに開催しているこのイベント。作品について何が見えるか、感じたことや気付いたことを数人で対話しながら鑑賞します。

この日は、参加者それぞれが展示中の茶碗や日本画の中から自分が一番好きなものを選んでおすすめポイントを紹介したり、彫刻作品について思い思いに話しました。作品を人におすすめしたり、他の人の考えを聞いたり、いつもとは違う鑑賞体験になったのではないのでしょうか。

お茶を飲む時、持ちやすそう

色合いと形が好き

白い茶碗はお茶の緑が引き立つ

色と柄に重厚感がある

三色碗は寛次郎っぽい

木の実?

動かしてみたいくなる

技術がすごい

木目をいかしている

女性っぽさを感じる

